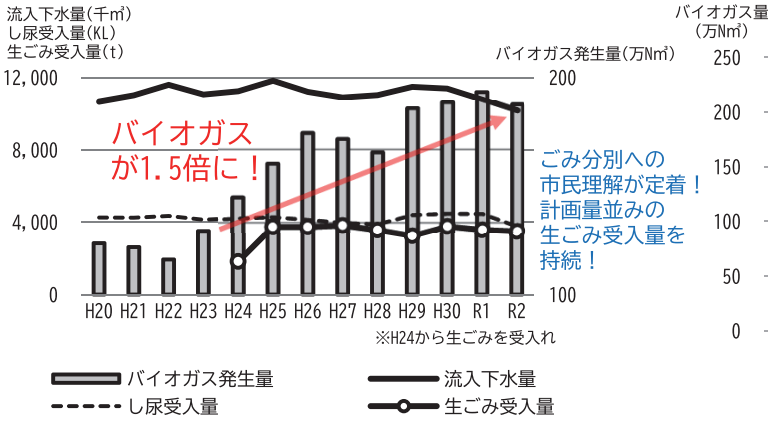




～取り組みの効果～

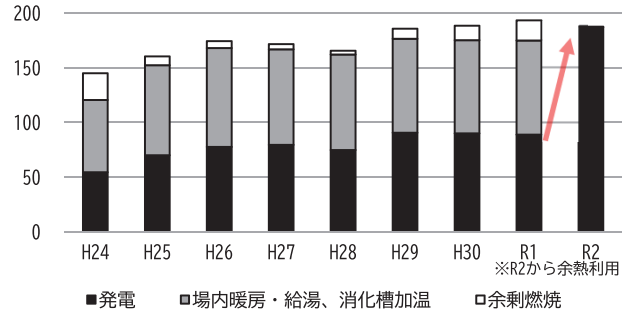
地域バイオマスの受入れとバイオガス発生量の推移



生ごみの受入れにより  
バイオガス発生量が約1.5倍に増加!

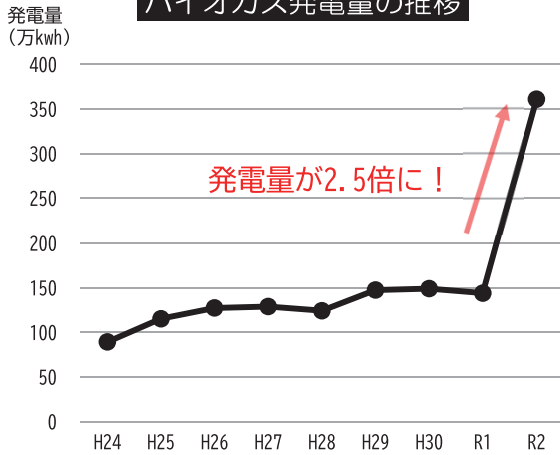
バイオガスの利用用途

余熱を場内暖房等に利用することで  
バイオガスを発電用途に転用!



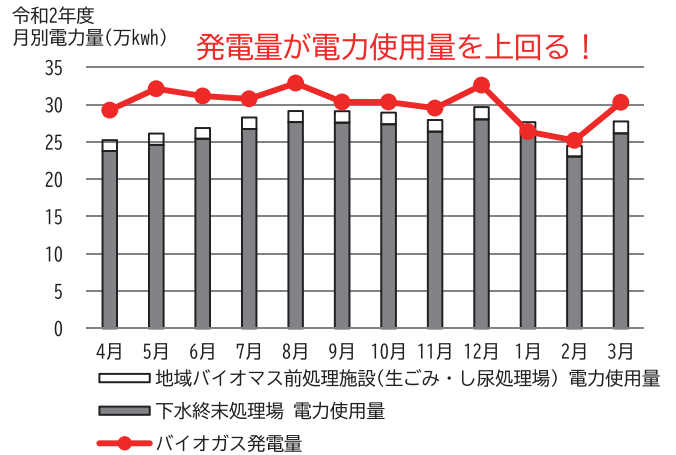
ごみ焼却施設の余熱利用により  
バイオガスのほぼ全量を発電に利用!

バイオガス発電量の推移



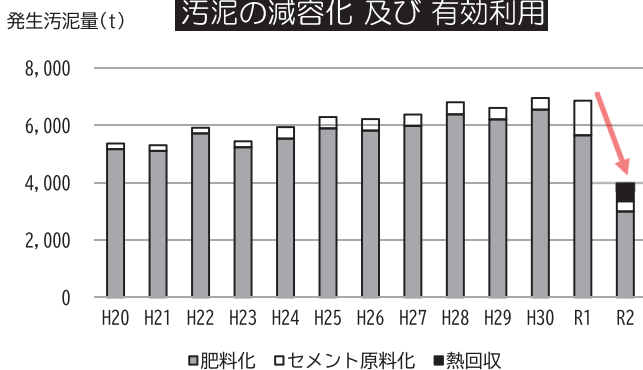
バイオガスのほぼ全量を発電し、  
発電量が約2.5倍に増加!

発電量と電力使用量との関係



発電量が電力使用量を上回り  
『ネットゼロ電力エネルギー』を達成!

汚泥の減容化 及び 有効利用



令和2年9月から汚泥乾燥施設が稼働し  
発生汚泥量が大幅に減少!  
乾燥汚泥の一部はごみ焼却施設へ送り、  
ごみと混焼して熱を回収している。

Key Person



恵庭市水道部 下水道課主査  
佐藤洋介

この取り組みは、市民や他部署等との連携の上に成り立つものであり、今後とも関係者間による協力体制の維持が必要と考えます。

また、下水道を含む都市基盤の持続的提供に向けて、さらなる垣根を超えた連携や創意工夫による効率化・最適化が必要と認識しています。